



仁生会

細木病院グループを支えた40年 — 理事長退任に寄せて — (社会医療法人仁生会 会長 細木秀美)



令和8年7月1日付で、私、細木秀美は、40年間の理事長職を退任し会長職となり、理事長職は新しく信吾院長にバトンタッチいたしました。

細木病院グループの40年を振り返って

昭和61年6月25日、父、高行の急逝によって、思いがけず、社会医療法人仁生会細木病院グループの理事長という重責が舞い込んできました。

父は、まだ70歳という若さでしたので、まだまだ元気で仕事してくれるとばかり思っておりましたので、本^{きようがく}当に驚愕し、目の前が真っ暗になりました。

病院経営の西も東も分からなかった私が、曲がりなりにもやってこれたのは、いつも助け舟を出してくれ、気軽に相談できた私を取り巻く周囲の皆さんのおかげです。



細木秀美会長・膺子本部長夫妻

当時の医局の大先輩の先生方、山下むつ子看護部長、細木清事務長などの幹部の皆様、行政の皆様、取引銀行の皆様、そしていつも横にいて私の愚痴を聞いてくれ、60年間、苦勞を共にした家内に助けられて過ごすことができました。

その頃の病院には、婦長会以外に職員の集まって議論する会議は皆無でした。医局会もなければ、各種の運営会議もまったくありませんでした。そのため、職員間のコミュニケーションを図る目的にも、まず会議づくりに没頭しました。突然、細木病院へ帰ってきたもので、誰の名前も知りません。まず、各自の胸に名札を付けてもらいました。これには、医局の先生方からは異論が多々出て、苦勞しました。

次に職員の皆さんと患者さん、周囲の皆様との連携のため、院内報「じんせい」を発刊しました。最初は記事

集めに苦勞して、穴埋めに書き始めた時事エッセーが40年間近く続いております。

平成元年、病院の働く基礎となる理念とマークを作って、周知徹底するため、各自の胸の名札の裏に理念カードを入れてみました。こうして、次第に私も慣れて、職員の皆様も私に慣れてこられて、徐々に新体制がなじんできました。

この40年間で最も大きかった出来事は、平成8年に完成した今の新館病棟建設でした。設計段階で、設計担当と二人で、アメリカの西部の大きな病院、数力所を見学しました。偶然、ハワイの海軍の病院の事務長だった方と知り合ったおかげです。新館病棟には、手術室、リハビリ室、大きな講堂なども併設しましたが、10年先、20年先を見据えていたもので、その頃の幹部の皆様には、なぜ、こんな大きな講堂を作るのか、などと異論百出でした。

7年前に、愚息が重い腰を上げて細木病院へ出掛けて帰ってきてくれなければ、今の細木病院はなかったと思っています。今からは、新しい理念、新しい運営方法、新しいスタッフによる、未来に向けたかじ取りが必要になります。占領軍の総司令官、マッカーサー元帥が退役時、「老兵は、静かに去るべし」と言われた言葉を想い出します。

細木病院グループが、ますます将来に向かって、利用していただく患者さんにも、地域の皆様にも、働く職員の皆様にも、かわいがられて、いつまでも地域に愛されることを心から念願して筆をおきます。



細木秀美会長・細木信吾理事長



仁生会

細木病院グループの新たな歩み — 新理事長就任に寄せて — (社会医療法人仁生会 理事長 細木信吾)



細木病院（ドローン撮影）

2026年7月1日より、社会医療法人仁生会、細木病院グループ理事長を拝命いたしました。新理事長として一言ご挨拶申し上げます。

細木病院グループは、1946年に初代理事長の祖父・細木高行が創設しました。40年後の1986年には二代目理事長に父・細木秀美が就任、そして40年後の2026年、私が三代目理事長を拝命することとなりました。40年という長きにわたり法人を率いてきた父に、心から感謝と敬意を表するとともに、「本当にお疲れさまでした」と申し上げたいと思います。

さて、ここで私の基本的な法人運営方針についてお話しいたします。

新しい理事長として、まず、『温故知新』という言葉をご皆さんにお伝えしたいと思います。私たちの80年間の歩み、歴代理事長をはじめ先人たちが築いてきた細木病院グループらしさを大切にしながら、法人運営を行います。

また、これまで通り、患者さんや利用者さんのハッピーを第一に考えてまいります。今風に言えば、Well-Being（幸福）の実現です。やさしさや思いやりのある接遇を土台に、『知識』と『技術』に支えられた医療・介護・福祉をこれからも提供していきます。

患者さんにハッピーを届けるためには、職員の皆さんがハッピーでいなければならないと考えています。毎年行っている職員アンケートの解析結果から、職員が自ら考え、主体的に行った取り組みが評価されるという成功体験が、働き甲斐につながるといことが分かっています。

す。県内外から高く評価されているMSHP（Medical Staff Happy Project）活動がまさにその実践例です。ボトムアップ方式で、業務改善に取り組み、PDCAサイクルを回します。今後もメンバーを入れ替えながらMSHPの輪を広げ、働き甲斐の向上を通じて、職員のハッピーを追求していきたいと考えています。

MSHP活動に不可欠なのは、職場の課題を自分事として捉え、解決に向けて、学び、考え、行動する姿勢です。そのため私は、「学ぶ組織」、「考える組織」であることにこだわっていきます。

特定のリーダーに依存せず、組織が自らブラッシュアップし続ける。それが私の目指す理想の組織です。

最後は、地域とのハッピーの共創です。小中学校での認知症養成講座をはじめ、地域の皆様とともに、ワクワクするような新しい取り組みを考え、実践していきます。地域に愛され、地域とともに未来を作る細木病院グループでありたいと思っています。

私自身も、これから細木病院グループがどのように発展していくのかワクワクしています。温故知新を大切に、皆様と共に細木病院グループの未来を築いていきたいと考えています。今後とも、皆様のご指導、ご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。



細木秀美会長・細木信吾理事長

ホームページでは、病院情報だけでなくさまざまな取り組みを紹介しています。



詳細はこちらから



時工ッセー

森鷗外の小倉日記と生き方

誰でも人生の最終段階に近づき死期が近づくと、自分の今まで生きてきた人生に満足感を持って最後を迎えたいと思う。厚生労働省も、人は尊厳を最後まで守ってその人らしく死を迎えることを最重点にしている。

舞姫、雁、高瀬舟など多くの著書を残した明治の文豪としての森鷗外（1866～1922年）を知らない人はいないだろう。半面、彼は日本陸軍の軍医として40歳で第一師団軍医部長、45歳で陸軍の最高ポストの陸軍軍医総監、陸軍省医務局長にまで上り詰めている。軍隊の多くの兵

隊にビタミンB₁不足によるかっけが発生した時、彼は伝染病説を支持して、ビタミン不足が原因で麦飯を食べると改善するという説に帝国軍人に麦飯を食べろとはと激怒した。治療のタイミングが遅れて多くの兵隊が死亡したといわれている。

この森鷗外が1899年から3年近く、なぜか九州の小倉にあった陸軍第12師団の軍医部長として左遷された。小倉滞在中の彼の書いた「小

倉日記」に36歳の時に安楽死について翻訳した一文がある。「病人をして生活の望みを維持せしむること、その最も重要なものなり」これは鷗外が原文を逸脱して彼独自の解釈だとい

われるが、病人が望む暮らし方をいかにするかが大切であるという鷗外の特論が表れていて興味深い。

鷗外は肺結核を病んでいたが、死亡する直前まで自分の好きな皇室関係の図書寮の長官として仕事に夢中になっていたようだ。人の最後はその人の思うがままに人生を全うして、日野原先生が言われた「有終の



仁生会理事長
細木 秀美

美」を実践するのが理想だろうと最近つくづく思っている。



仁生会

速報

地域と歩んだ80年。 感謝を伝える記念式典を開催

2026年7月1日、新来島高知重工ホール・オレンジ（高知県立県民文化ホール）にて、社会医療法人仁生会細木病院グループの創立80周年を記念した式典「**ハッピーほそぎ～地域と共に。ありがとうを、これからも～**」を開催しました。

式典では、岡山大学の湯浅教授、竹林寺の海老塚住職、細木秀美会長による3つの講演が行われました。医療、文化、人生観など幅広いテーマが語られ、来場者の皆さ



細木会長による講演「ほそぎヒストリー」

まが熱心に耳を傾けていました。また、歌や笑い、踊りのステージもあり、会場全体が温かい雰囲気包ま

れました。

当日はあいにくの天気となりましたが、開場時には入り口に長い列ができ、地域の方々、医療関係者、職員など、1000人に迫る多くの皆さまにご来場いただきました。

細木病院グループが地域と共に歩んできた80年の歴史を、皆さまと分かち合うことができた大変貴重な一日となりました。

ご来場いただいた皆さま、そして運営に携わった職員の皆さまに心より感謝申し上げます。当日の様子は、広報誌「じんせい」8月号の80周年特別号で詳しく紹介いたしますので、ぜひご覧ください。

（創立80周年事業実行事務局一同）



大勢の来場者で賑わう会場



細木病院は、公益財団法人日本医療機能評価機構の定める認定基準を達成しています。



A cartoon illustration showing a healthcare team moving a patient. On the left, a female nurse in a white uniform and cap stands with her hands on the front of a gurney. On the right, two male medical assistants in blue scrubs and caps are positioned behind the gurney, one on each side, ready to assist. The patient, an elderly woman with grey hair, is lying in the gurney, looking towards the camera. The gurney is a light brown color with white wheels and a white sheet. A white IV stand with a bag is attached to the right side of the gurney. The background is a plain white.

詳細は
こちらから

細木病院

高知県看護協会 会長表彰を受けて —支えてくださった皆様への感謝—



表彰状を手に晴れやかな笑顔を見せる
小野看護師

細木病院脳神経外科に勤務しております看護師の小野敦子です。この度、2026年6月13日に開催されました**令和8年度高知県看護協会通常総会において、高知県看護協会会長表彰を受けるという大変な栄誉を頂戴いたしました。**思いがけないご連絡で、身に余る評価をいただい

たことに、今もなお驚きと恐縮の気持ちが入り交じっております。

受賞理由として、永年にわたり医療機関で看護師として勤務し、県民の健康支援に寄与した点を評価していただいたとのことですが、私自身はただ目の前の患者さんの安心と安全を第一に、日々の看護を積み重ねてきただけであり、特別な功績を成し遂げたという意識はございませんでした。打診を受けた際には辞退すべきかとも考えましたが、生涯でこのような機会は滅多にないと改めて思い直し、ありがたく拝受することにいたしました。

今回の受賞は、諸先生方をはじめ看護部の皆様、そして日々ともに働くスタッフの温かいご指導とご支援があつてこそ頂けたものと深く感じております。これまで支えてくださった皆様に心より感謝申し上げます。

ありがとうございました。

(外来看護師 小野敦子)

細木病院

第28回 日本医療マネジメント学会 学術総会参加の報告

5月29日(金)、30日(土)の2日間、名古屋市のポートメッセなごやで開催された日本医療マネジメント学会学術総会(以下、学会)に参加しました。

日本医療マネジメント学会は、医療の質の向上を目指し、クリティカルパスをはじめ、医療・福祉・介護の連携や安全管理など、現場におけるさまざまな課題について研究・提案を行い、成果を上げている、発足28年目を迎える学会です。

学会は4施設・全16会場に分かれて開催され、特別講演、基調講演、シンポジウム、市民公開講座、ランチョンセミナーなどが行われました。一般演題は計687題(口頭581題、ポスター106題)の発表があり、学会参加者は2日間を通して約4,000名でした。

学会テーマは、「地域住民の健康寿命を延伸する医療マネジメント～医療および福祉施設の健康的な経営も視点にいれて～」でした。

細木病院からは、『見える化』から始まる全部署参加型・働き方改革への道～時間外労働削減の取組み～と題し、人事総務部の尾原より発表(共同演者:細木院長、

門田事務部長)を行いました。質疑応答の場や発表後にも複数の質問をいただき、本取り組みに対し

て多くの

方々に関心を寄せていただけたことを実感しました。

また、学会テーマに基づくさまざまな取り組みの発表に触れ、多くの刺激を受ける機会となりました。

今後の目標として、学会発表ができる人材の育成を進めるとともに、その魅力を当院の次世代へ伝えていきたいと考えています。

最後に、「名古屋めし」は開催地ならではの魅力を楽しめ、とてもおいしかったのですが、少し味が濃いめでした。

(本部人事総務部長 尾原 団)



門田事務部長と尾原人事総務部長(右)



細木病院

参加者、興味津々!! 「土曜の永国寺(認知症)カフェ」耳鼻咽喉科兵頭医師講話

6月13日、**当院が協賛する認知症カフェにて、耳鼻咽喉科兵頭医師による、「耳の聞こえ方は、本人は気づきにくいのです」と題した講話が行われました。**難聴と認知症の関連性に関心を持つ方が多く参加され、初めて参加された方も多数見受けられました。講話中は皆さんが熱心に耳を傾け、関心の高さがうかがえました。

聞こえにくさを放っておくと、脳の活動性が落ちる。



講話する兵頭医師

人と話すことで、いろいろなことを考える。情報が脳に入ってこない脳が寝たままになってしまい、脳が働かなくなり

認知症になりやすい、補聴器を適切に使用することで、聞こえが改善して、認知症予防につながると分かりやすく説明があり、参加者の方が感銘を受けておられました。

後半は参加者の方からの質問コーナーでしたが、たくさんの質問がありました。一つ一つの質問に対し丁寧に答えられ、大好評の中終わりました。

参加者のご家族からは一度外来を受診して相談したいという感想が聞かれ、大変有意義な講話となりました。

(高知市上街・高知街・小高坂地域包括支援センター

堅田亜津沙)



興味津々！耳を傾けられる参加者

細木病院

在宅部のお引っ越し

6月21日、梅田橋ビルで運営していた在宅部の事業所の一部が細木病院こころのセンターへ移転しました。今回、移転したのは、**ケアサポートセンターほそぎ・在宅部事務・ヘルパーステーション城西・精神グループホーム管理者**の4事業所です。新たな勤務場所は、ケアサポートセンターほそぎと在宅部事務がこころのセンター1階(旧歯科跡地)、ヘルパーステーション城西と精神グループホーム管理者が2階(訪問リハビリテーション隣室)となりました。一方、高知市地域包括支援センターとほそぎ診療所は、引き続き梅田橋ビルで業務を行っています。今回の移転にあわせ、これまで梅田橋ビルにまわって勤務していた在宅部の管理職4名(部長・副部長2名・課長)は、ケアサポートセンターほそぎ・ヘルパーステーション城西・ほそぎ診療所・訪問看護ステーションへそれぞれ配置することになりました。管理職が現場により近い位置で日々の課題を共有し、タイムリーに支援できる体制づくりを目指したものです。



細木病院北館(こころのセンター)

に整いました。心より感謝申し上げます。病院内に拠点を置くことで、院内各部署との連携がこれまで以上に円滑となり、病院併設の在宅事業所としてより切れ目のない支援体制が構築できると考えています。また、地域の最前線で生活支援・地域医療を提供する地域包括支援センターやほそぎ診療所との協働もこれまでどおり継続し、地域に寄り添ったケアの提供に取り組んでまいります。

制づくりを目指したものです。

移転にあたり、多くの皆様にご協力いただき、引っ越し作業や環境整備が無事に

に整いました。心より感謝申し上げます。病院内に拠点を置くことで、院内各部署との連携がこれまで以上に円滑となり、病院併設の在宅事業所としてより切れ目のない支援体制が構築できると考えています。また、地域の最前線で生活支援・地域医療を提供する地域包括支援センターやほそぎ診療所との協働もこれまでどおり継続し、地域に寄り添ったケアの提供に取り組んでまいります。

(在宅部長 池上美幸)

細木病院マップ





令和8(2026)年 8 月予定			月		火		水		木		金		土
			午 前	午 後	午 前	午 後	午 前	午 後	午 前	午 後	午 前	午 後	午 前
本館 1 階	内 科	1 診	中村寿宏 (糖尿病外来)	上田祐二	中村寿宏 (糖尿病外来)	品原正幸	中川 治	小野寺真智	上田祐二	森下美智子 (リウマチ膠原病)	猪狩俊介	品原正幸	担当医
		2 診	上村千鶴子	小野寺真智	小笠原史也	猪狩俊介 ～ 15:30	森下美智子	上村千鶴子 ～ 16:30	三本直輝	松本一真	上村千鶴子	前田理沙	岩崎泰正
		3 診				細木秀美 (第4週) 予約のみ							
	内 視 鏡				上田祐二	上田祐二	小野寺真智						
	循環器内科 予約制 ☎088-845-5291		西本美香						細木信吾				
	総 合 診 療 科			溝渕 俊二									
	整 形 外 科 予約制 ☎088-845-5291								高知大 田所伸朗 9:30～				高知大 泉 仁 9:30～
	小児科		小児科の受付 月・水・木・金は午後5:30まで 火は午後5:00まで	橋詰 稔 13:30～15:00 予防接種 (予約制)	森下祐介・濱田朋弥 (交代) 13:30～15:00 予防接種 (予約制)	橋詰 稔 13:30～15:00 予防接種 (予約制)	橋詰 稔 13:30～15:00 予防接種 (予約制)	橋詰 稔 13:30～15:00 予防接種 (予約制)	橋詰 稔 13:30～15:00 乳児健診 (予約制)	橋詰 稔			
	耳 鼻 咽 喉 科		高知大学医師				横畠悦子	横畠悦子	横畠悦子 (隔週) 補聴器外来	横畠悦子	横畠悦子	高知大学医師	
	皮 膚 科		安井喜美	安井喜美	安井喜美	安井喜美	安井喜美	安井喜美		安井喜美	安井喜美 14:30～ (第3週15:00～)		
東館 1 階	精 神 科 予約制 ☎088-845-5291								高知大 森田啓史				
	放 射 線 科		岩井智郎	岩井智郎	岩井智郎	岩井智郎	岩井智郎	岩井智郎	岩井智郎		岩井智郎	岩井智郎	岩井智郎
健 診			担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医		担当医	担当医	



令和8(2026)年8月予定			月		火		水	木		金		土	
			午 前	午 後	午 前	午 後		午 前	午 後	午 前	午 後	午 前	午 後
小 児 科 / 内 科			松本和博	松本和博	松本和博	松本和博	定休日	松本和博	松本和博	松本和博	松本和博	松本和博	松本和博
整 形 外 科												北岡和雄 (隔週)	

在宅療養支援診療所
診療科目／内科

〒780-0926 高知市大膳町1-25 2階 予約・お問い合わせ ☎080-2990-1279
診療時間／9:00～12:30、13:30～17:30 休診日／土、日、祝日

ご存じですか!?

ソーシャルワーカーからのミミ情報

引き上げ「介護保険施設入所の費用」



介護報酬の改定のため、介護保険での施設入所（特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護医療院）の食費や居住費が8月1日より引き上げられます。三愛病院介護医療院の多床室の場合は、居住費は変更ありませんが食費は変更になります。市町村民税非課税世帯で預金が一定以下の場合は、申請により食費が減額されます。

<介護保険での施設入所時の食費 1日あたり> 令和8年8月1日～

		預金金額（夫婦の場合）	令和8年7月31日まで	令和8年8月1日から
市 区 町 村 民 税 非 課 税 世 帯	第3段階② (年金等合計所得年額 120万円超)	500万円 (1,500万円) 以下	1,360円	1,420円
	第3段階① (年金等合計所得年額 82.65万円超～ 120万円以下)	550万円 (1,550万円) 以下	650円	680円
	第2段階 (年金等合計所得年額 82.65万円以下)	650万円 (1,650万円) 以下	390円	390円
	第1段階（老齢福祉年金者等）	1,000万円 (2,000万円) 以下	300円	300円

※課税世帯の方の食費は入所施設によって異なりますので、各施設へお問い合わせください。居住費に関しても同様です。

詳細につきましては、各施設もしくは三愛病院 地域医療連携室（TEL088-845-5291）へお問い合わせください。
（三愛病院 地域医療連携室 ソーシャルワーカー 山本明公子）



【予約電話】 ☎088-873-3806 (小児科 ☎088-820-6780 / 健康管理センター ☎088-822-7264 / 北館 ☎088-802-3366)

令和8(2026)年8月予定 ※外来表は変更になる場合があります。			月		火		水		木		金		土
			午 前	午 後	午 前	午 後	午 前	午 後	午 前	午 後	午 前	午 後	午 前
本館1階	外 科	1 診	尾崎信三 (乳癌・甲状腺)	尾崎信三	尾崎信三	担当医	中村衣世	上地一平	尾崎信三	担当医	上地一平	担当医	尾崎信三
		2 診	上地一平	中村衣世									高知大 中屋美咲 (第2・4週)
	緩和ケア科 完全予約制 ☎088-873-3806		安藤 徹										
	痛みの外来(ペインクリニック)				細川滋俊						細川滋俊		
本館1階	整形外科 午後の診療と土曜日は手術等 で変更や休診になる場合あり	1 診	北岡和雄	山川晴吾 (小児整形外科)	三宮将典	北岡和雄	山川晴吾	担当医	北岡和雄	高知大教授 池内昌彦 予約のみ	三宮将典	山川晴吾	高知大 喜安克仁
		2 診	堤 大樹	担当医	堤 大樹	高知大 泉 仁 (第1週)	堤 大樹		山川晴吾	担当医	北村亜以		堤 大樹
13階	放射線科		耕崎志乃	耕崎志乃	高知大 松本知博 9:00～12:00	高知大 市木純哉 13:30～16:30	耕崎志乃	耕崎志乃	耕崎志乃	高知大 岡田夏穂 13:30～16:30	耕崎志乃	耕崎志乃	
本館2階	総合診療科			矢野博子		新			矢野博子	澤田 努 14:00～		矢野博子	
	一般内科		新	猪谷哲司	松田勇蔵	森下美智子 (リウマチ膠原病) (第1・3・5週)							担当医 (2名)
	循環器内科 ＜ほそぎハートセンター＞		古川敦子	西本隆史	細木信吾	細木信吾	山本哲史	山本哲史	古川敦子	細木信吾	山本哲史	宮地 剛	担当医
			西本隆史	岸之上隆雄	宮地 剛		西本隆史	岸之上隆雄	(岸之上隆雄)	古川敦子	宮地 剛		
	心臓リハビリテーション科		岸之上隆雄	西本美香	西本美香	西本美香	西本美香	西本美香	西本美香	西本美香	西本美香	西本美香	
	呼吸器内科		白神 実	小林 誠			小林 誠	白神 実	白神 実	小林 誠	白神 実		
	消化器内科		小島康司	新			小島康司				小島康司		
	糖尿病・内分泌内科		熊谷千鶴		高知大教授 西山 充 (甲状腺外来)	西岡達矢	西岡達矢		西岡達矢	熊谷千鶴 (甲状腺外来)	篠原雅幸	熊谷千鶴	高知大 田口崇文 (甲状腺外来)
			篠原雅幸	西岡達矢 予約再診のみ	熊谷千鶴	熊谷千鶴	篠原雅幸 (第3・4・5週)		篠原雅幸		篠原雅幸		
	腎臓内科		猪谷哲司	新			矢島愛治 (泌尿器)			矢島愛治 (泌尿器)			
	新 肥満症外来				篠原雅幸				岸之上隆雄				
	小児科 予 約 制 ☎088-820-6780	1 診	細川卓利	堂野純孝	堂野純孝	堂野純孝	中岡祐子	堂野純孝	中岡祐子	中岡祐子	細川卓利	細川卓利	堂野純孝
		2 診	齊藤由実	齊藤由実 ～16:00	藤枝幹也	藤枝幹也	高知大医師	高知大医師	竹内愛那		竹内愛那	堂野純孝	藤枝幹也
		3 診						中岡祐子 4F予防接種		竹内愛那 (小児アレルギー外来) ～15:00		竹内愛那 (小児アレルギー外来) ～15:00	午後予約のみ 堂野純孝 ～14:30
	神経小児科 予 約 制 ☎088-820-6780			細川卓利						細川卓利			午後のみ診察 細川卓利 ～15:00
	小児専門外来 予 約 制 (低身長・甲状腺等) ☎088-820-6780						新井淳一	新井淳一	新井淳一	新井淳一			午後も診察あり 新井淳一 ～15:00(月2回)
	小児こころの外来 完全予約制 ☎088-820-6780					中岡祐子				中岡祐子	島崎真弓 中岡祐子		
本館4階	脳神経外科				栗坂昌宏 (検査)	高知大教授等			栗坂昌宏		栗坂昌宏		
	耳鼻咽喉科		兵頭政光	兵頭政光	兵頭政光		たて 楯 敬蔵	たて 楯 敬蔵	兵頭政光	兵頭政光	兵頭政光	兵頭政光	兵頭政光
			楯 敬蔵	楯 敬蔵	楯 敬蔵				楯 敬蔵	楯 敬蔵	楯 敬蔵	楯 敬蔵	楯 敬蔵
	泌尿器科				あしだ 蘆田真吾	あしだ 蘆田真吾							高知大医師
本館5階	健診・人間ドック (健康管理センター) 完全予約制 ☎088-822-7264		森下延真	松田勇蔵	森下延真		森下延真	森下延真	森下延真	森下延真 弘瀬祥子	森下延真		
		乳がん 子宮がん	中村衣世						中村衣世		尾崎信三		
本館6階	美容皮膚科 予 約 制 ☎088-822-7211		三好みちよ	三好みちよ	三好みちよ	三好みちよ	※ピーリングを除く再診の 施術(2回目以降)のみ		三好みちよ	三好みちよ	三好みちよ	三好みちよ	※問い合わせ ください
	内視鏡検査室		じょうぶ 常風友梨 (大腸内視鏡)	弘瀬祥子	弘瀬祥子	小島康司	弘瀬祥子	佐竹朋美	高知大教授 宮地英行	新	弘瀬祥子		
北館1階	歯科/歯科口腔外科 完全予約制 ☎088-802-3366		細木弓子	細木弓子	細木弓子	細木弓子	細木弓子	細木弓子	細木弓子	山本哲也 (口腔外科)不定期	細木弓子	細木弓子	
	こころのセンター 9:00～12:00、 13:00～16:00に こころのセンター 受診相談窓口まで お電話ください。	初診				山田眞子	峯瀬正祥 (ストレスケア外来)		吉岡隆興 (もの忘れ外来)				
		再診	吉岡隆興	山田眞子	船越祥子 11:00～12:00	峯瀬正祥	吉岡隆興	山田眞子	峯瀬正祥	山田眞子	峯瀬正祥		吉岡 峯瀬 (第1週)(第2週)
	皮膚科/形成外科			野田理香 ～16:30			野田理香		池田光徳	野田理香			山田 担当医 (第3週)(第4週)